

**営業支援のソフトブレン、在宅医療サービスへ参入
患者基点で見る新しい在宅医療支援システム「eケアマネージャー」発売開始
～在宅医療サービスの質の向上と医療/介護の連携による効率化を実現～**

営業課題を解決するためのサービスを提供するソフトブレン株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 豊田浩文)は、日本での在宅医療へのニーズの高まりから、これまでの営業現場における顧客接点を管理するノウハウを生かし、患者基点の新しい在宅医療システム「eケアマネージャー」を開発し、提供を開始したことを発表いたします。

■在宅医療へのニーズと課題、開発の背景

少子高齢化が進む日本では、高齢者の多くは自宅での療養を希望している現状があります。高齢者の増加とニーズの高まりから、在宅医療を必要とする者は2025年には29万人と推計され、約12万人増える見込まれています。^{*1}

しかし、在宅医療推進にあたって、医師不足、訪問看護・介護体制の未整備、家族への負担などが大きな課題となっています。

また、現在在宅医療を提供する医療従事者からは、「医師や多職種間で情報共有し患者が安心できる申し送り^{*2}を実現したい」「現場からモバイルで簡単にリアルタイムに申し送りを行いたい」「医師、看護師、ケアマネージャー、ヘルパーなどが手軽に活用できる診療予約の仕組みがほしい」などの声が高まってきています。

これらの課題を解決するためには、在宅医療・介護サービス供給量の拡充、医療/介護の連携による効率化とサービスの質の向上が不可欠となります。ソフトブレンはそれらを実現するため、「eケアマネージャー」の開発に踏み切りました。

^{*1}参考資料:厚生労働省平成24年度在宅医療連携拠点事業 事業説明会資料(平成24年7月11日実施) 資料1 在宅医療の最近の動向

^{*2}申し送り:患者に施した治療・施術内容やそれに関連する注意事項などを後任者に伝えること

■「eケアマネージャー」概要

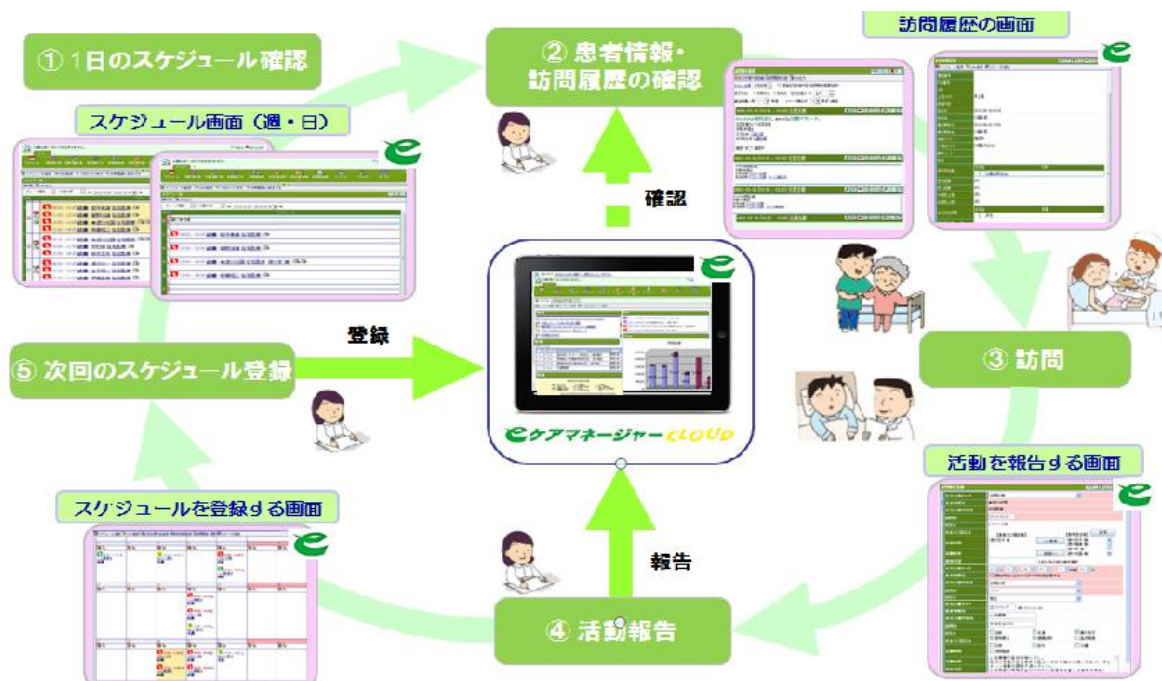
営業分野で2,000社以上の顧客接点管理システム構築の実績をもつソフトブレンのノウハウを活かし、「モバイル活用」「シンプル」「患者基点」をキーワードにした在宅医療支援の仕組みを構築しました。

「eケアマネージャー」は、従来のシステムとは異なり、患者を基点とした予約管理が可能となります。タブレット端末を利用して現場で簡単に患者への往診履歴や今後の予約確認、医師や看護師、ケアマネージャーそれぞれのスケジュールも確認できるため、次回必要な診療の予約登録や申し送りなどもその場で簡単に行えます。

また、登録する際、「eケアマネージャー」の“シナリオエンジン機能”により、診療場面に応じてあら

はじめ設定してある手順(シナリオ)通りの報告画面(活動項目)が自動的に呼び出されます。それに沿って活動報告をしていだけで、その都度必要な実施項目(問診や施術、次回予約設定など)の抜け漏れを防ぐことができるため、医療サービスの品質を確保し患者の満足度を向上する仕組みを構築できます。

■「e ケアマネージャー」を活用した訪問医療の1日の流れ



■「e ケアマネージャー」価格

別途お問い合わせください。

E-mail : request@softbrain.co.jp

■今後の予定と目標

今後、ソフトブレインは、医療従事者へのIT研修・サービス向上研修も併せて提供し、ツールとサービスを融合した医療現場サポートサービスを提供していく予定です。

2013年度で在宅医療サービスを提供している医療機関5施設への導入を目指します。

※記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

【ソフトブレン株式会社について】(コード番号 4779 東証第一部)

URL: <http://www.softbrain.co.jp/>

事業内容:

営業課題解決事業

【本ニュースリリースに関するお問合せ先】

ソフトブレン株式会社

広報担当 高橋

TEL: 03-6880-2600 FAX: 03-6880-2601

E-Mail: press@softbrain.co.jp